

# 一問一答 面接対策

テキスト

Doors.

# 目次

面接とは.....	1
面接官について.....	7
面接での注意点.....	9
面接突破の10ヶ条.....	10
PART1 自己分析に関する質問.....	12
PART1 まとめ.....	20
PART2 研究計画に関する質問.....	20
PART2 まとめ.....	41
PART3 志望動機に関する質問.....	45
PART4 修了後の進路に関する質問.....	48
PART5 その他の質問.....	51
面接 Q&A .....	52

S

A M P L E

# ■はじめに

大学院入試では「口頭試問」つまり、「面接」が実施されます。大学院によって面接官の数や持ち時間に若干の違いがありますが、質問されることはほとんど同じです。

そして、大学院入試の面接に挑まれる方で、不安を感じない方や緊張をしないという方はいません。ましてや研究に徹底的に打ち込んできたわけであれば、不安が募るのももっともでしょう。

しかし、このテキストを参考に準備をしっかりと行い、対策をしていけば心配はありません。面接官の気持ちや考えを理解することで、伝えるべきことが見え、それが自信につながります。素晴らしいプレゼンテーションで多くの人を魅了した彼のアップル社のCEO スティーブ・ジョブスでさえ本番に向け、幾度となくプレゼンの練習を繰り返していました。

このテキストでは、面接官の1つひとつの質問に対する意図や評価のポイントを解説しています。また、それぞれの質問は、質問のジャンルごとに章立てしてありますので、興味のある章から読み始めください。

最後に、このテキストを通じて、面接で想定される質問への対処法を学んでいただき、面接に臆することなく、明るく前向きな気持ちで面接官との会話にのぞめるよう、切に願っています。

## 口頭試問(面接)とは

大学院入試の面接について、基礎から解説していきます。

### 面接の種類

#### ① 研究計画書 ・ 面接総合評価

- ・前もって研究計画書や、その他書類を提出し、当日にそれらをもとに面接を行う。

#### ② 筆記試験 ・ 面接総合評価

- ・筆記試験と同じ日に面接を行い、両結果を総合的に判断して可否を決定。

#### ③ 筆記選抜 ・ 面接型

- ・筆記試験の合格者のみ面接を実施。

面接試験を大きく分けるとこの3つのタイプに分類できます。ほとんどの大学院では①か②のタイプの面接が実施されますが、どちらにせよ事前に研究計画書を提出する必要があります。

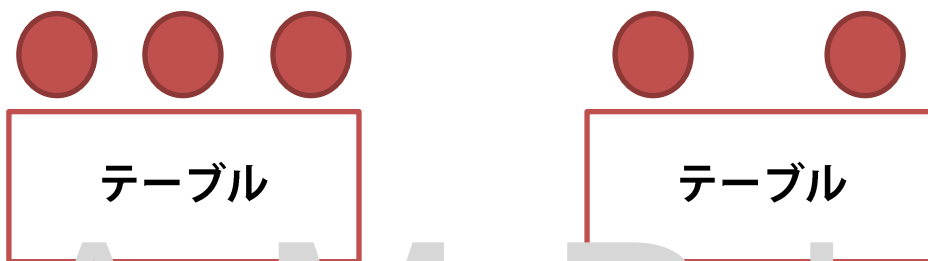
## 面接の形式

面接は複数の部屋で同時に行われます。どの部屋、どの教授に当たるかは、実際に面接が始まるまで分かりません。

本番の面接は以下のような形になります。

面接官3人に対し、受験生1人

面接官2人に対し、受験生1人



次に、面接を行う部屋への入室までの作法について解説します。

## 入室までのマナー

基本的な面接の運びを紹介します。どの大学院でも必ずこの通りに進むとは限りませんが、大きな流れとしては以下のように進行します。

①

・待合室、用意されている座席で待機

②

・名前を呼ばれたら返事をし、ドア前へ

③

・ドアをノックする。

④

・中から、返事が来たら「失礼します」と言って入室。

⑤

・入室したら、ドアの方向を向いて閉める

⑥

・面接官に向かって、その場で「失礼します」と言い、一礼する。

⑦

・イスの方へ進み、もう一度一礼する。

⑧

・ここで、自己紹介「〇〇です。よろしくお願いします」と言う。

⑨

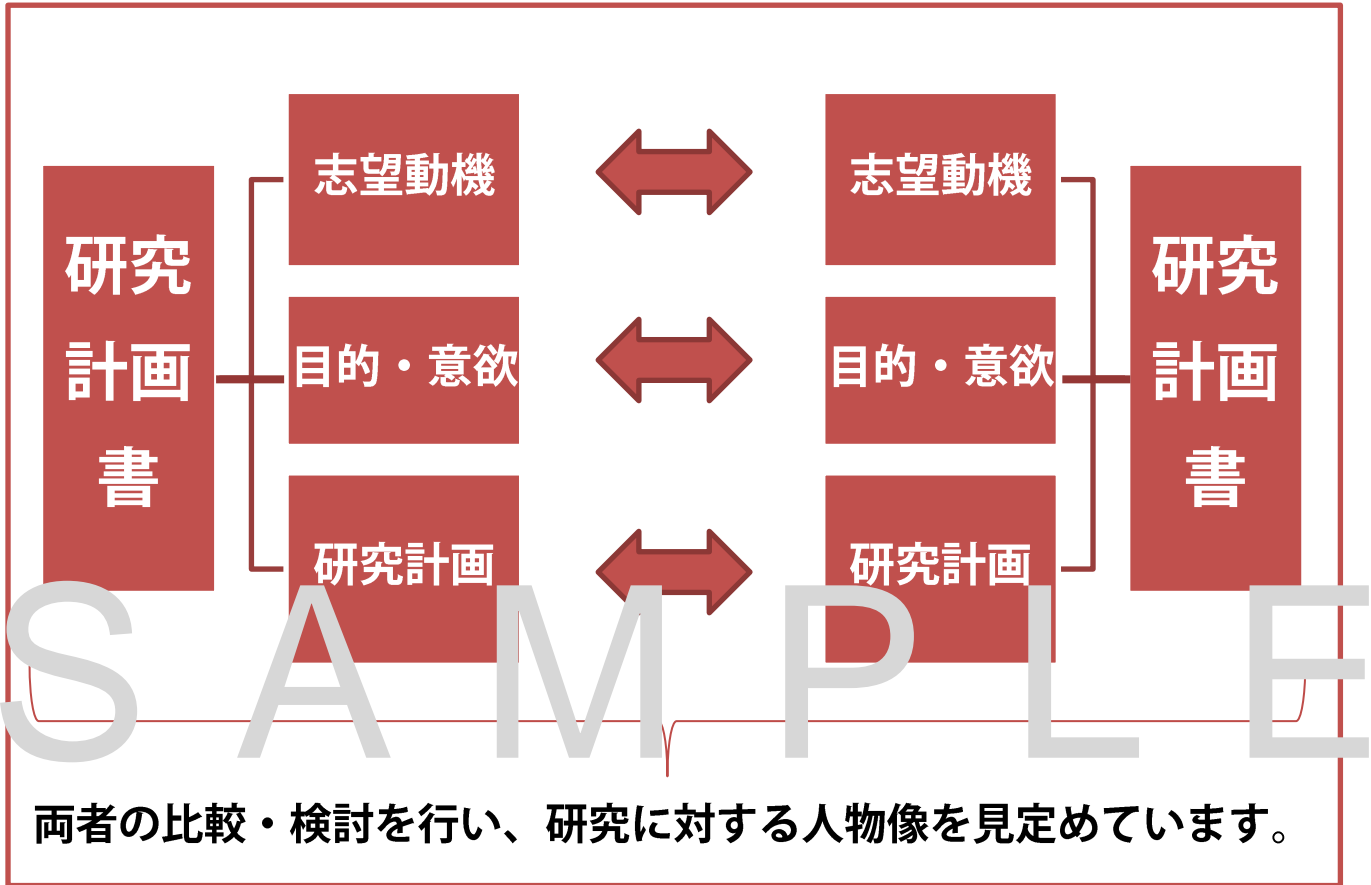
・勧められたら、着席。(深すぎず、浅すぎず)

⑩

・面接開始

## 面接の内容

面接で何について聞かれるのか、具体的な内容について解説していきます。



上記の図のように、面接官は研究計画書と面接での受け答えの双方から研究に取り組んでいこうとする受験生の姿勢を見ています。

そして、中心となる質問内容は以下ようになります。

- ① 志望理由
- ② 研究計画
- ③ 経歴
- ④ 修士課程終了後
- ⑤ その他

面接の8割が①志望理由と②研究計画についての質問だと考えていいでしょう。しかし、③～⑤に関する質問の準備も怠ってはなりません。

## 1. 志望理由

何故その研究を行うのか、何故その大学院を選んだのかを自分の行う研究と関連付けて説明します。

主に問われる内容は以下の通りです。

- **何故この研究を行いたいのか**(目的・動機)
- **何故この大学院なのか**(大学院・研究科・教授・カリキュラム)

## 2. 研究計画

どのような方法、計画に基づいて研究を行っていくのか説明します。

主に問われる内容は以下の通りです。

- **どのように研究を行うのか**(方法・領域・問題意識)
- **研究にどのような意味があるのか**(社会的・学術的)
- **研究のオリジナリティ**(先行研究を踏まえ、上でのどのような付加価値を付けるか)
- **関係のある専門知識、理論について**

## 3. 経歴(自己分析)

勤務経験や大学での学業についてどのようなことを行ってきたのか、また、それらの経験をいかに大学院の研究へとつなげていくのか説明します。

主に問われる内容は以下の通りです。

- **何を行ってきたか**(大学における卒業論文、ゼミ活動、力を入れた勉強)
- **何を行ってきたか**(業務経験、業務で直面した大学院での研究につながる問題)

## 4. 修士課程終了後

大学院を修了した後にどのような進路に進むのか説明します。

主に問われる内容は以下の通りです。

- **就職、進学(博士課程)をするのか**



## 5. その他

志望理由や研究計画に関する質問の他にも、個人的なことや世間話、専門科目など幅広い内容について質問されることがあります。

主に問われる内容は以下の通りです。

- 筆記試験の出来
- 読んだ本、最近の関心ごと
- 研究を本当に行うことができるのか(時間・経済的負担などの面から)
- 受験生のパーソナリティーに関する質問など

大まかに分けるとこれらのことが面接で問われます。特に**重点的に質問されるのが研究計画**についてです。

まずは研究計画書をしっかりと書き上げ、基本的な研究計画に関する質問に対応できる力を養っていきましょう。

面接の準備をしっかりとし、あらゆる角度から来る質問に備えることができれば、合格の可能性は高まります。

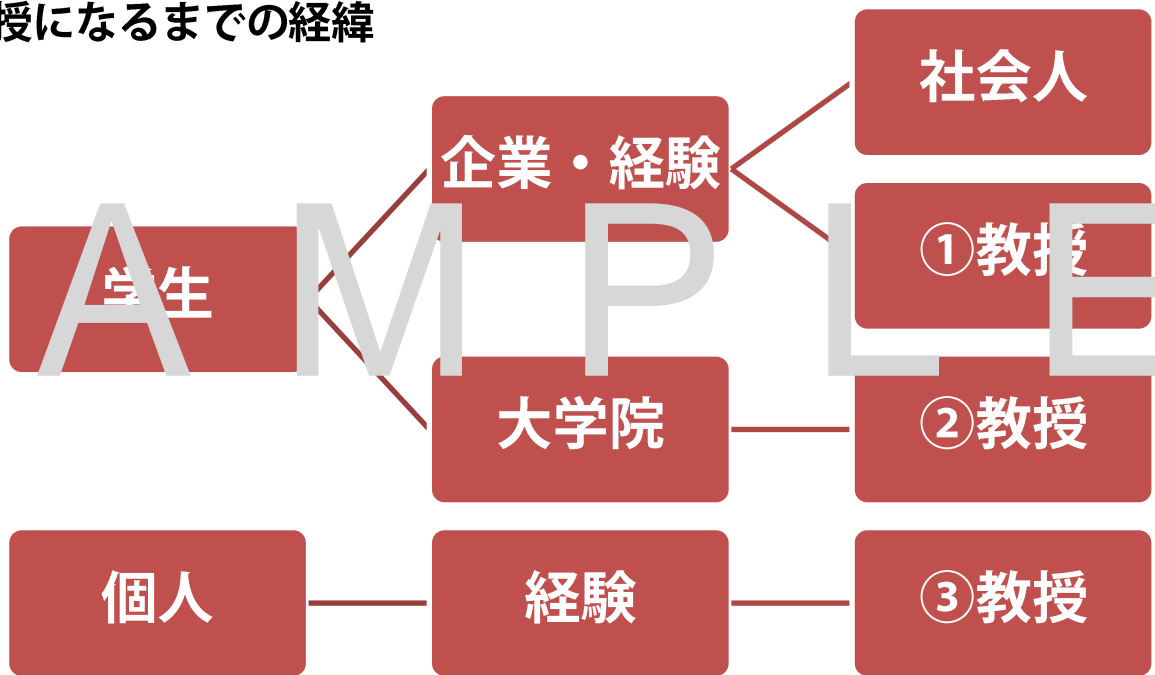
## 面接官はどのような人か？

大学の教授が面接官となり、受験生との問答を経て面接が進められていきます。では、面接をリードする面接官とは一体どういう人なののでしょうか、説明していきます。

### 大学教授を知る

面接試験にぶっつけ本番で挑むよりは、事前に少しでも情報を集めるべきです。ここでは、みなさんの合否を決める面接官(大学教授)がどのような人なのか解説します。

#### 教授になるまでの経緯



上記の図から分かるとおり、大学の教授になる方法は3通りあります。

1 つ目は、企業や官公庁での実務経験が評価され、大学や大学院に教授として招かれるパターンです。企業の役員や行政の中枢に関わっていた方など、社会的な常識や知識を携えています。最近の MBA や大学院ではこのタイプの教授が増えています。

2 つ目は、学術的探究心から大学院の修士課程、博士課程に進み、教授になるパターンです。通常の面接ではこのタイプの教授が試験官となります。自分の専門領域に精通している反面、大学の研究という特殊環境の中に長期間身を置いている人も多く、個性的な方やこだわりを持つ方が多いです。

3つ目は、大学や大学院に進まなかった方で、専門的な技術や技能を高いレベルで有している方が大学の教授に招かれるパターンです。このタイプの教授が試験官になることはまずありません。

基本的に誰が面接官になろうとやることは変わりません。この研究を行うという意志とそのために必要なことが明確になっていれば、面接に自信を持って挑めるようになります。

# S A M P L E

## 一言アドバイス

受験生が面接官を選ぶことができない。これが意味することは、自分の研究テーマのことを全く知らない教授が面接官になる可能性があるということです。その場合でも自分の研究のスタンスを崩さず、自信を持って受け答えをすれば問題ありません。肝心なのは研究を行えるか否かということです。

## 面接に挑む上での注意点

初めて面接に挑まれる方は、どのような意気込みで挑めばいいのか分からないものです。ここでは面接の前に知っておいて欲しい考え方をお伝えします。

大学院を初めて受験するみなさんにとって修士課程の面接試験は未知のもの、どのような心構えで挑めばいいのかよくわからないと思います。ここでは、本番で役立つ面接の挑み方を紹介します。

### 面接では、やる気が大事！？

- ・アルバイトの面接なら「がんばります!」とやる気を伝えることができれば合格することはできますが、大学院の面接では、研究する能力が備わっていることを論理的にアピールすることがやる気の証明となります。

### SAMPLE

#### 面接官は、受験生の研究内容をすべて理解している！

- ・大学教授には何となく様々な学問領域に精通しているというイメージを持ってしまいがちです。しかしながら、教授たちが精通しているのはあくまでも自分の研究分野に限った話しです。ある程度は関連する研究のことを知っている人もいますが、高いレベルで把握している方はまずいないでしょう。(それだけ学問は奥が深い)自分の研究したいテーマについて全く知らない教授が面接官になることもありえます。重要なことは研究を理解し、行うことができると相手を説得することです。

### 面接官はいい人！？

- ・現在、社会人の方の受け入れに積極的な大学院が増えています。学生を相手にするより多少サービスの意識が高まったということができますが、有名な大学院になると露骨に受験生のことを門前払いしようとする面接官もいます。

## 面接突破の10ヶ条

面接突破に際して必要な心構えについてまとめたので、ご覧ください。

①

### 面接は緊張しても大丈夫

- ・緊張するのは、それだけの想いがあるからです。緊張している自分を否定しないでください。「緊張はいいことだ」と認めることで少しは気が楽になります。

②

### 面接は第一印象が大切

- ・これだけで評価が決まる訳ではありません。しかし、最初の印象は記憶に残るもの。身だしなみを整え、ハキハキとした言動を心がけましょう。

③

### 面接は一つひとつの動作を丁寧に

- ・特に「お座りください」と言われたときのお辞儀をだらしなくする人がいます。細かいことですが、基本的な生活習慣はこのようなところに現れてしまうので注意。

④

### 面接は練習あるのみ

- ・このテキストを読んでいただいて「わかったつもり」になっても、実際に思った通りに話すことはできません。たくさん練習することが成功のカギです。

⑤

### 面接はテンポ良く

- ・不安になる気持ちはわかります。ただ「とにかく全部伝えなければ」と思い、一方的に話さないようにしましょう。面接官はテンポの良い会話を求めています。

⑥

## 面接は「伝われ」という気持ちを込める

- 覚えてきたセリフを淡々と話すのではなく、感情を込めて想いを伝えてください。赤面しても、声が震えても伝えようとする想いは必ず伝わります。

⑦

## 面接は今できることを精一杯やる

- 面接の順番を待っていると、周りの人ができる人に見えてしまうものです。ですが、他の人たちも同じように不安になっています。自分自身が今できることを精一杯やるしかないのです。

⑧

## 面接は話していないときも面接

- 面接官が質問などで話している時間こそが自分の考えを整理できる唯一のチャンスです。相手が何を言いたいのか、言葉の裏の真意をくみ取り、それに対応するための答えを考えましょう。

⑨

## 面接は結論から話す

- まず質問に対する答えを一言で簡潔に伝えることで「この学生は何が言いたいんだ?」という面接官のストレスをなくすことができます。

⑩

## 面接は具体的な言葉を心がける

- 「検討」、「考察」などは研究を行う上で、大変便利な言葉です。しかし、実際これらの言葉には中身がありません。「検討」の意味するところが研究方法なのか概念の整理なのか適切に表現する必要があります。

PART1

# 自己分析

に関する質問

14

SAMPLE

## 今まで何をやってきたのですか?(学生)

単なる自己紹介ではなく、大学でどのような学習を行ってきたのか簡潔に述べます。

×

### 悪い回答

私は、法学部に4年間在籍し、法律の勉強を頑張ってきました。  
教授からの信頼も厚く、2年次よりゼミの幹事を任せられ、上級生との親睦を深める催しをセッティングしました。民事訴訟のディベートにおいては、現役の弁護士の方をお招きし、有意義な議論を展開することができました。その結果、学生生活を充実させることができました。

#### ここが良くない

自己紹介に終始しています。たしかに、大学生活については把握できたのですが、この学生は研究というものを分かっているというイメージができません。

### 悪い回答

私は、大学で経営学を専攻し、企業のディスクロージャーについて卒業論文を作成しました。  
卒業論文の作成においては、〇〇を研究のオリジナリティとして資料のサーベイを行い、他大学の教授にもお話を伺いました。  
この研究から〇〇という結果を導き出すことができました。また、研究過程で学校法人の財務情報公開という点について興味を持ち、こちらの大学院で研究をしたいと思いました。

#### ここを参考にしよう

大学の学部レベルで研究の独自性と研究成果について述べられるのならば、大したものです。研究の基礎を押さえ、学術的好奇心を持っている人だと評価できます。

### 次にくる質問

「何故、学校法人について研究しようと思ったのですか。」

経営の研究を行い、企業の情報公開に関して高いレベルでまとめているのに何故、畑違いの分野の研究をしたいと思ったのか、その背景や動機について詳しく知りたいと思います。



## 今まで何をやってきたのですか?(社会人)

単なる自己紹介ではなく、どのような業務、活動を行ってきたのか簡潔に述べます。

×

### 悪い回答

私は、医薬品メーカーのMRとして3年間勤務しています。

海外マーケットへの販路拡大に向け、インドの医局や医師との折衝を行ったり、新人への研修を担当し、会社に貢献してきました。私の所属している部門の売り上げを前年度比30%UPさせ、現在も高いレベルでのパフォーマンスを維持しています。

#### ここが良くない

自己紹介に終始している例です。業務遂行能力の高さは認められますが、本当に研究したいの?と聞いてみたくになります。経験と研究を結びつける理由を整理しましょう。

### 良い回答

私は、自動車販売のディーラーに5年間携わっています。

職務を通じて車の購入におけるお客様の環境問題への関心の大きさに気づかされました。また、ランニングコストに対するシビアさを痛感し、顧客の求めに応じるかたちで、環境にやさしい製品ということ意識する中で、企業の環境政策について炭素税賦課の有効性という面から大学院で研究したいと思いました。

#### ここを参考にしよう

職務経験で感じた問題意識を研究目的としています。自分と直接関わりのある身近な問題を研究し、その成果を外部に対して還元しようとする姿勢は評価できます。

### 次にくる質問

「何故、環境政策の中で炭素税に着目したのですか。」

研究動機が具体的な上で、あえて「炭素税」という研究対象を選んだのか詳しく知りたいです。ここまで研究対象を絞っているのならそれなりに考えがあつてのことと勘繰りたくなります。